

葉山町議会議長 待寺真司 殿
CC: 葉山町町長 山梨崇仁殿

令和03年 12月06日

陳情 「働きかけ記録」の制度制定の検討

陳情趣旨

最近、自治体の意思決定が外部からの働きかけにより歪められ、政治不信を招いている報道を目にする。

全国市民オンブズマンが今年6月、「働きかけ記録」制度について全国の都道府県及び政令市を中心に調査を実施した結果、32都道府県、19政令市、37中核市で制度制定していることが解った（一般市及び町村は未調査）。

葉山町においても、公平、平等な意思決定かどうか疑いをもたれた時、その検証ができるよう「働きかけ記録」の制度制定（要綱・規則も含む）を、議会と町部局が協力して検討されますようご検討ください。

陳情理由

全国市民オンブズマンの「働きかけ記録」制度調査報告によると、

◇2021年3月17日（水）神戸新聞NEXT

市議による市職員への不当要求行為問題を受け、兵庫県姫路市が一般職の職員を対象に行ったアンケートで、13人が「（市議からの要望に）威圧を感じ、不適切と思う対応をした」と答えたことが17日、市会総務委員会で明らかになった。「業務や事業を進めるため」と答えた人も合わせると、不適切な対応をした経験があるのは延べ41人に上った。

◇2021年5月に愛知県西尾市で、市との関係が大きいスギ薬局会社会長が新型コロナワクチンの接種の便宜を図るよう求め、担当の職員は断ったにもかかわらず、副市長からの圧力で予約枠が確保された事件が報道された。

全国市民オンブズマンは、自治体における公平で開かれた意思決定を実現し、政治不信を払拭するために、実効性のある、情報公開を保証した働きかけ（口利き）記録制度・条例を早急に制定するよう求めていきたいとしている。

葉山町民オンブズマンが今年10月に葉山町について同様な調査を実施（写しは葉山町議会）した結果、葉山町には「働きかけ記録」制度に関する条例、要綱等は制定されていないことが解った。

（請求人）

